

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（平成 19 年 7 月） 正誤・追記事項

頁	項目	新（追記後）	旧（追記前）	通知日
75	4.2.5 対象コンクリートの素地調整 (3) 素地調整の施工方法	…有機材料の素地調整材又はプライマーを用いる場合には、原則として乾燥したコンクリート面（対象コンクリートの表面含水率 <u>5%以下</u> の状態）に対して施工しなければならない。…	…有機材料の素地調整材又はプライマーを用いる場合には、原則として乾燥したコンクリート面（対象コンクリートの表面含水率 <u>5%未満</u> の状態）に対して施工しなければならない。…	H20.03.31
139	表 5-14 断面修復工の標準的な施工管理基準（例）	圧縮強度 現場採取した断面修復用モルタルの圧縮強度(28 日)が品質規格値以上であること。試験は円柱供試体（φ <u>5×10cm</u> 、試験 1 回につき 3 本採取）等を用いて使用材料製造業者の定める方法により行う。	圧縮強度 現場採取した断面修復用モルタルの圧縮強度(28 日)が品質規格値以上であること。試験方法は、 <u>付属資料 3 に準ずる。</u>	H20.03.31
付属資料 1 防食被覆層に関する品質試験方法				
付 3	1.1 塗布型ライニング工法の防食被覆層の品質試験方法 (3) 試験方法 6) 硫黄侵入深さ	（前略）、並びに、120 日間経過した <u>比較用試験片*</u> を試験に用いる。（後略） ※ 防食被覆層の最上層に同一材料を使用する場合で、 <u>C 種及び D1 種の双方の試験を行う場合には、何れか一方の工法規格に対する試験でよいものとする。</u>	（前略）、並びに、120 日間経過した <u>比較用試験片</u> を試験に用いる。（後略）	H.20.01.18
付属資料 4 施工管理・検査における試験方法				
付 28	4.2 接着強さ試験 (3) 試験方法 ②	（前略）、コンクリートに達する深さ（防食被覆層または断面修復部*の施工厚さ以上）まで切り込まなければならない。 ※ <u>施工厚さが大きく、コンクリートに達する深さまで切り込めない場合には、監督職員と協議のうえ、施工厚さ 20～30mm 程度の試験板を施工と同時に現場で作製し、現場養生したものに対する試験とすることができる。</u>	（前略）、コンクリートに達する深さ（防食被覆層または断面修復部の施工厚さ以上）まで切り込まなければならない。	H.20.01.18

（平成 20 年 3 月 31 日）